

令和2年度 第2回ハタハタ資源対策協議会

－ 季節ハタハタ漁予測 －

1. 成熟度（生殖腺指数）の推移

雌の生殖腺指数（卵巣重量／内臓除去重量×100）が20に達した日と初漁日（初セリが行われた日）との間には正の相関があり、この指数が20に達した日が早ければ初漁日も早い傾向が認められる。

本年は、生殖腺指数が20に達した日を、10月25日と推定した。（図1●）

2. 初漁日の推定

本年の生殖腺指数が20に達した日を、昨年までの生殖腺指数と初漁日との間の回帰式に当てはめ、令和2年漁期の季節ハタハタの初漁日を、12月3日（±3日）と推定した。（図2●）

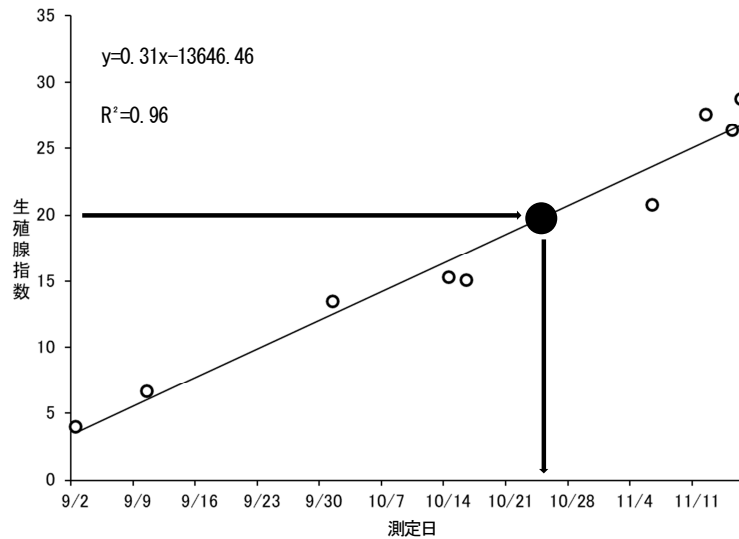


図1. 雌の生殖腺指数の推移

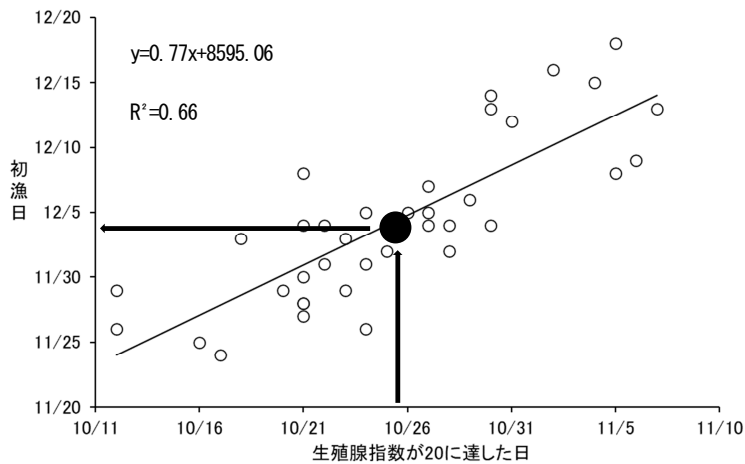


図2. 雌の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

表1. 雌の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

年	初漁日	生殖腺指数が 20に達した日	予測された初漁日
昭和	58年	12月5日	10月27日 12月7日 ± 5 日
	59年	12月4日	10月30日 12月9日 ± 5 日
	60年	12月12日	10月31日 12月10日 ± 5 日
	61年	12月4日	10月28日 12月5日 ± 5 日
	62年	12月5日	10月24日 12月1日 ± 5 日
	63年	12月2日	10月28日 12月7日 ± 6 日
平成	元年	12月13日	10月30日 12月8日 ± 4 日
	2年	12月6日	10月29日 12月7日 ± 4 日
	3年	12月15日	11月4日 12月12日 ± 4 日
	4年	12月16日	11月2日 12月12日 ± 3 日
	5年	12月13日	11月7日 12月17日 ± 3 日
	6年	12月18日	11月5日 12月15日 ± 3 日
	7年	12月8日	10月21日 12月6日 ± 3 日
	8年	12月9日	11月6日 12月14日 ± 3 日
	9年	12月4日	10月27日 12月6日 ± 5 日
	10年	12月7日	10月27日 12月6日 ± 4 日
	11年	12月14日	10月30日 12月9日 ± 4 日
	12年	12月8日	11月5日 12月16日 ± 5 日
	13年	12月5日	10月26日 12月4日 ± 5 日
	14年	11月28日	10月21日 12月5日 ± 3 日
	15年	11月27日	10月21日 12月1日 ± 2 日
	16年	11月29日	10月23日 12月3日 ± 2 日
	17年	12月1日	10月22日 11月30日 ± 2 日
	18年	12月4日	10月21日 12月1日 ± 3 日
	19年	11月26日	10月24日 12月3日 ± 3 日
	20年	11月25日	10月16日 11月26日 ± 3 日
	21年	11月24日	10月17日 11月27日 ± 3 日
	22年	12月1日	10月24日 12月2日 ± 4 日
	23年	12月2日	10月25日 12月3日 ± 4 日
	24年	11月30日	10月21日 11月29日 ± 3 日
	25年	11月28日	10月21日 11月29日 ± 3 日
	26年	12月3日	10月18日 11月27日 ± 3 日
	27年	11月29日	10月20日 11月29日 ± 3 日
	28年	11月29日	10月12日 11月23日 ± 3 日
	29年	12月4日	10月22日 12月1日 ± 3 日
	30年	12月3日	10月23日 12月2日 ± 3 日
令和	元年	11月26日	10月12日 11月24日 ± 3 日
	2年		10月25日 12月3日 ± 3 日

網掛けは、禁漁期間中のモニタリング調査結果。

3. 海況と気象

男鹿沖の底びき網漁場における11月上旬の水温は、表層では、「やや低い」であったが、水深100m層では、「かなり高い」、200、300m層では「やや高い」であった。（表2）

仙台管区气象台が11月12日に発表した1か月予報によると、12月上旬までの東北日本海側の気温は平年並か高いと予報されている。季節ハタハタの接岸には、北西寄りの強い風による時化が重要であることから、今後、静穏な天候が続いた場合、接岸が遅れる可能性もある。

表2. 観測点での11月上旬の水温

	年	0m	50m	100m	200m	300m	観測点
平成	7年	19.8	19.6	14.8	5.5	1.3	入道崎沖(★)
	8年	18.5	17.8	14.4	5.3	1.7	入道崎沖(★)
	9年	18.3	18.4	17.3	6.2	1.7	入道崎沖(★)
	10年	19.5	19.4	17.1	4.3	1.3	入道崎沖(★)
	11年	18.7	19.2	18.0	5.0	1.4	入道崎沖(★)
	12年	20.4	20.2	14.1	3.1	1.2	入道崎沖(★)
	13年	17.9	18.6	13.2	4.4	1.1	入道崎沖(★)
	14年	18.0	18.7	17.4	8.3	1.7	入道崎沖(★)
	15年	17.8	19.3	19.2	5.9	1.7	入道崎沖(★)
	16年	18.8	18.3	11.5	4.1	1.3	入道崎沖(★)
	17年	19.0	20.3	15.2	5.1	1.5	入道崎沖(★)
	18年	19.0	18.3	14.6	4.2	1.3	入道崎沖(★)
	19年	19.4	20.1	15.3	3.4	1.5	入道崎沖(★)
	20年	19.8	20.5	15.2	5.9	1.6	入道崎沖(★)
	21年	18.3	18.2	15.6	5.3	1.6	入道崎沖(★)
	22年	18.1	18.3	13.7	5.0	1.3	入道崎沖(★)
	23年	19.8	19.4	15.4	6.3	1.4	入道崎沖(★)
	24年	17.4	18.6	16.4	7.5	2.1	入道崎沖(★)
	25年	19.7	18.7	12.8	3.2	1.4	入道崎沖(★)
	26年	18.4	18.2	15.0	5.5	1.5	入道崎沖(★)
27年	18.6	18.6	16.2	5.1	1.5	入道崎沖(★)	
28年	16.6	16.3	15.5	5.2	1.4	シグレ西側(○)	
29年	18.6	15.8	11.5	2.3	1.4	入道崎沖(★)	
30年	20.7	20.8	14.5	4.0	1.4	入道崎沖(★)	
令和	元年	18.7	18.6	16.0	5.6	1.4	戸賀沖(●)
	平年値 (30年平均)	18.8	18.8	15.2	5.1	1.4	
令和	2年	17.9	18.1	18.0	6.5	1.7	戸賀沖(●)
	偏差	-94	-59	159	110	110	

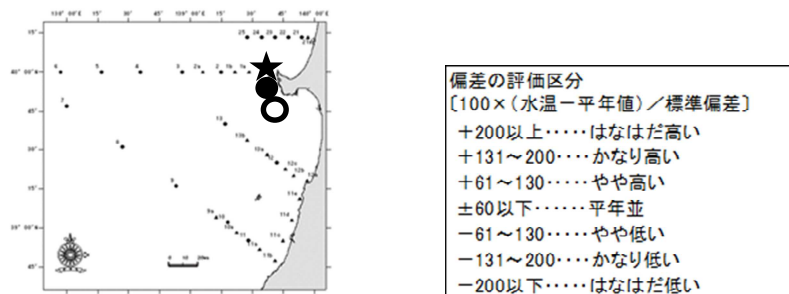


図3. 観測点

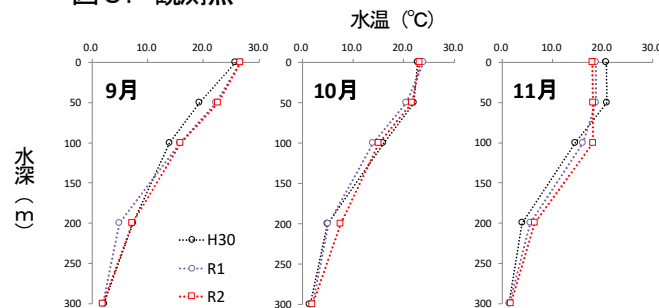


図4. 観測点における、9月～11月の各水深の水温

4. 魚体の組成

年齢別個体数は、1歳魚（小型）＞3歳魚（大型）＞2歳魚（中型）と推定された。（図5）

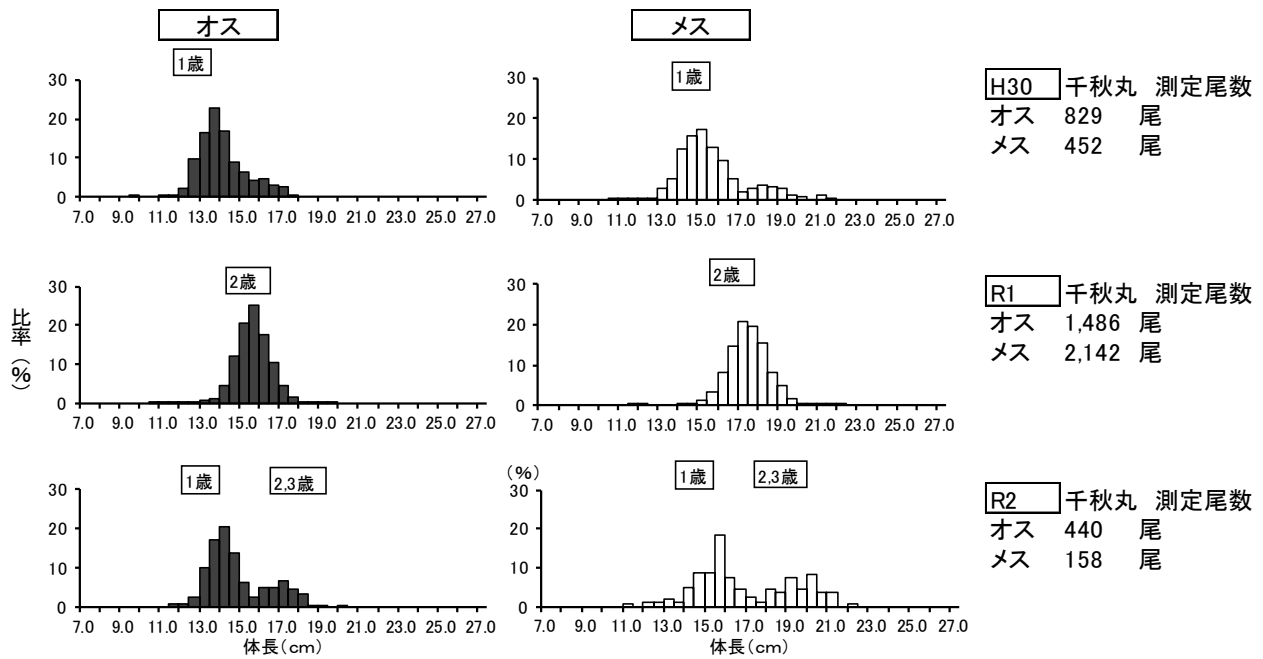


図5. 令和2年漁期（9月～11月）における、千秋丸による漁獲個体の体長組成

5. 底びき網漁業の状況（11月17日まで）

令和2年漁期の漁獲量は約12トンで、前年を82トン下回っている。（図6）

令和元年漁期は、県北部、戸賀沖～秋田沖に漁場が形成されたが、令和2年漁期は、漁場の範囲、漁獲量とも規模が小さい。特に、例年認められる戸賀沖の漁場が確認できない。（図7）

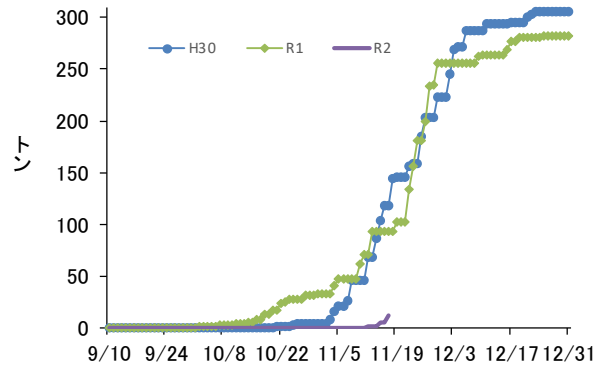


図6. 底びき網漁業での漁獲量の推移（水産振興センター調べ）

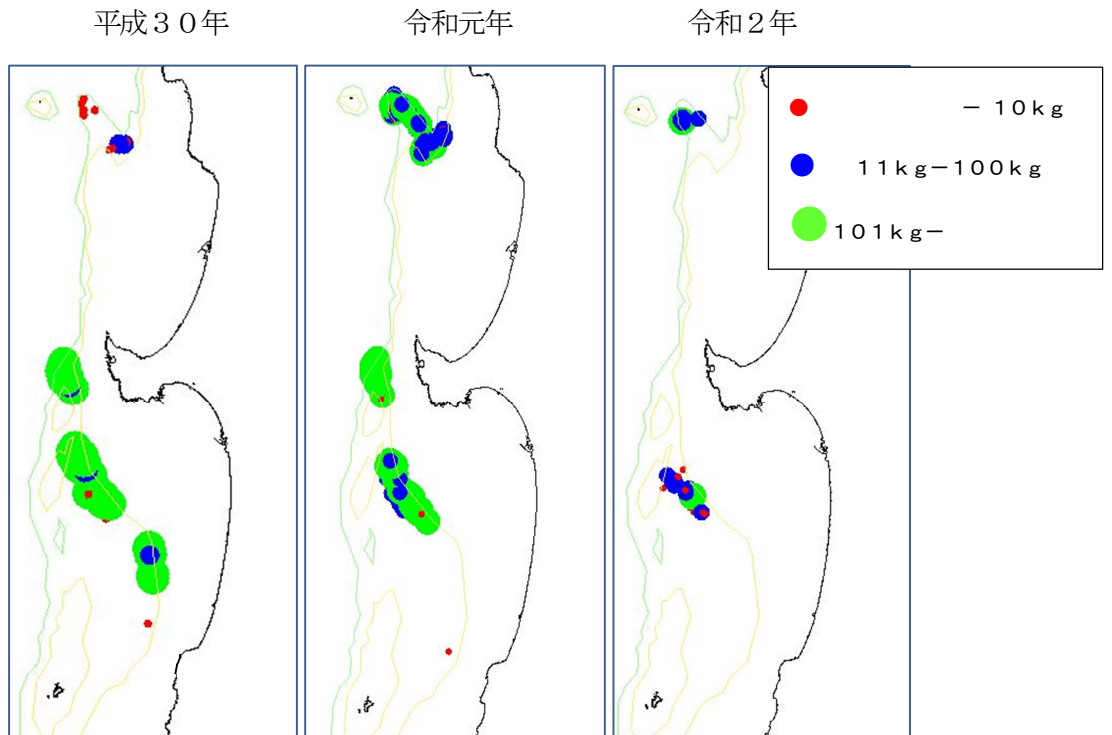


図7. 平成30年～令和2年漁期の底びき網漁業での漁場

6. 水産振興センターからのお願い

- 第9期資源管理計画（令和3年漁期～）に向けて、「地区/漁法ごとに、ルールに基づいた漁業管理」手法を考えていくために、操業日誌は、網ごとに、毎日、記載ください。
- 正確な日別の漁獲量を把握するため、加工用や直売用も含めて漁獲物は1日単位で集計し、翌日までに報告ください。